



輸送事業の車両と納整事業の風景

- 本社所在地：群馬県太田市清原町2-6
- 事業概要：陸送事業／陸運事業（海上コンテナ）／納整事業／モータープール事業／警備事業
- 常時使用する従業員：330名
（2026年5月時点）
- 現在の売上高：61億円
（2025年5月期）
- 法人番号：5070001019945
- Web：https://nitiriku-group.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
黒岩 秀彰

業界の課題を突破し新たなスタンダードを創り出す

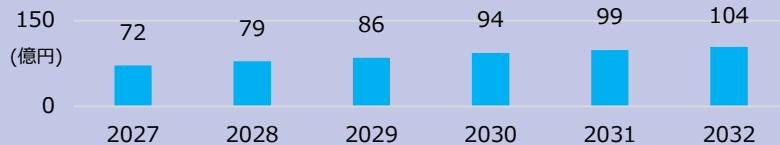
日本陸送は創業以来、陸送事業を中心とした各自動車メーカー様の新車輸送に携わりながら、常にチャレンジ精神を掲げ、近年では商品車輸送に関連する数々の事業を展開して参りました。現在の輸送業界は2024年問題やコスト増、競争激化という課題に直面しており、既存の延長線では成長が鈍化するリスクがあります。

経営環境が変化する中でも、当社として変わらないものは良き企業市民として社会に貢献するという想いです。これからも「正直・正確・素直」の企業理念のもと、当社がリーダーシップを発揮することで、会社に関わるすべての皆様とともに課題解決に取り組み、輸送業界の持続的な成長と発展を実現します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2032年の売上高達成に向け、既存事業を年平均6%で伸長させることに加え、大規模投資を起点とした各種施策を順次展開する。



課題

- ・物流業界の「2024年問題」やコスト増、競争激化への対応
- ・現在のキャパシティの限界による成長制限の打破
- ・単なる輸送・保管から、次世代「モビリティ資本」への転換
- ・物流資本の先駆者（ゲームチェンジャー）への挑戦
- ・既存の延長の突破と、新たな成長スタンダードの創出

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・愛知県豊川市に新拠点を整備し「ハブ化と中継輸送」を実現する戦略的な起点として下記施策を順次実行していく
 - ① 近隣のメーカー拠点から複数の新規業務を獲得
 - ② 最新鋭車両の開発と本社との幹線輸送ルートを開拓
 - ③ 構造改革特区の活用による輸出車両輸送の獲得
- ・いずれも「業界課題に挑む」ものであり、業界内のステークホルダーを巻き込んだ大規模な施策となるが、その成功の先には「業界構造を変える」可能性を秘めている

実施体制

- ・新代表を中心とした新進気鋭の執行体制
- ・大規模投資計画に係る事業計画コンサルへの委託
- ・メインバンクとのリレーションシップ
- ・構造改革特区申請に向けた輸送業務コンサルへの委託
- ・群馬県や太田市との連携体制
- ・自動車メーカーと協働での運送体制構築